

お寺のデイサービス

還る家とともに

かえるいえ

生と老いと病と死と、
喜びも悲しみも、ともに歩みたい…
誰もがいつでも
心の深呼吸ができる場所

〒244-0002

横浜市戸塚区矢部町125

電話 045-881-0348

FAX 045-881-0379

E-mail@zenryouji.jp

<http://www.zenryouji.jp>

発行責任 善了寺還る家ともに

還る家 ともに日誌

ゆず大根づくり



家庭菜園をしておられる関川さんから、大きい大根2本もを頂きました。1本はおでん、1本は輪切りにしてゆずの皮とクルクルと巻いて干し、2倍酢でいただきました。みんなで、1日楽しみながら丁寧に作りました。まさに愛情を込めて

紅葉 ありがとう

今は、もうすっかり葉が落ちてしまったけれど、少し前まで、お寺の高いところにあるイチヨウの木から、黄色い葉っぱが、毎日らはらと舞い落ちていた。このイチヨウの木から、今年の秋は思い出を一つ、二つともらった。キーンと冷える寒空の下、Gさんと二人で、黙々と落ち葉はきをしたこと。Gさんの予想以上の集中力と体力にびっくりしました。おしまいにするころには、二人とも体がぼかぼかに温まったこと。また、いつもは、腰の重い人がほうきを手にさっさか歩き回っていたこと。「昔と比べて今の自分は、何も出来なくなってしまった。」と、苦しみを抱えている人が、ほうきを持って別人のようにいきいきと動き出し、キラキラした最高の笑顔を見せてくれたこと。そして、週に数回のデイサービスが唯一の外出のOさん。送迎車を降りた時「Oさん、見て！イチヨウの木がきれい！」と、イチヨウの木を指差して声をかけたときの事。Oさんはゆっくりゆっくりと、上を見上げしみじみと、本当にしみじみと、イチヨウの木を眺めていた。その目は本当に貴重なものを心に留めようとしているかのようで、私も同じようにOさんの目線から木を見上げた。青い空に、イチヨウの黄色が鮮やかに映えていた。Oさんの目に映るイチヨウの木には、どんな思いが詰まっていたのだろう。

吉田 彩

編集後記

キャンドルナイトの夜、ゲストの環境運動化で歌手のアンニャ・ライトさんと2人のお子さんが、お寺にお泊りになりました。「英語が通じるかな？」という私の心配は全く不要で、流暢なアンニャの日本語でスムーズに会話できました。でも、自分の人生観や生活を考えさせられる大切な一夜になりました。エクアドルのジャングルで6ヶ月間暮らした経験から、おもちゃもテレビもゲームも電気製品もコンビニもマックもない生活の魅力と苦勞を教えてくださいました。便利な時代に生きているにもかかわらず、愚痴多くさらに欲求は止まらず、子供に勉強を強要する私に「学ぶべき遊ぶべき暮らすべきは、自然と地球と宇宙よ」坊

ボランティアさん 敬称略

中嶋 芳江	秦野かねよ
安藤 信子	竹中 秀子
西岡美都里	寺島 美代
渡井 敏子	朝倉 好子
別府与志子	濱崎 芳子
市野和歌子	弓削 福子
矢口 和子	秦野 雅子
有働 桂子	飯島 慶子
斉藤 悠子	藤野 淳子
遠嶋 信子	藤井千恵子
八蔵巻靖子	美濃口静子
米村 正男	小寺 久枝
江田 峯子	中島 雄子
土田 正夫	大木 真紀
村井ヒテ子	江尻 伸子
牛島 寛子	大金スエ子
金原美枝子	仙庭 治恵
犬塚 照夫	松村 節子

お願い

ササッと汚れたところを拭いたりするのに、綿のTシャツなどの古着を募集しています。こちらで、切りますので、そのままの形で結構です。よろしくお願ひします。

ボランティアさん募集

お話相手、食事づくり、カラオケ、習字(生徒)、手芸、園芸などの趣味活動など、ご都合にあわてお力をお貸しください。詳細はお問い合わせください。

